

議会 だより



小豆島町

No. 35

平成27年 2 月 1 日 発行



全国の舞台で思い繋いだ島のたすき

全国中学校駅伝大会に香川代表で男女とも初出場した小豆島中学校陸上部（山口県）

- 審議議案
臨時会・定例会について…………… 2
- 一般質問
11名の議員が質問…………… 3
- 視察研修報告…………… 9
- 住民の声・まちの力…………… 10

新春の

ごあいさつ



小豆島町議会 議長
森 口 久 士

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

日頃から議会に對しまして温かいご理解
とご協力を頂き、心から厚くお礼申し上げ
ます。

昨年4月には議員改選が行われ、14名の
新体制で議会がスタートいたしました。本
年も町が抱える課題に對し「町民目線に立
った議会の運営」を基本に、皆様の期待に
応え、積極的に議会活動を進めてまいりま
すので、よろしくお願いいたします。

議員 大川 新也 坂口 直人 中松 和彦
松下 智 谷 康男 柴田 初子
藤本 傳夫 森 崇 安井 信之
秋長 正幸 鍋谷真由美 中村 勝利
浜口 勇

11月 臨時会

第3回臨時会

第3回臨時会は11月
21日に開催され、提案
された次の3議案に對
し、それぞれ原案のと
おり承認・可決しまし
た。

職員の給与に関する
条例の一部改正

安田ポンプ場沈砂池

設備工事

契約金額9,342万円

落札業者

扶桑建設工業(株)四国支社

一般会計補正予算

(第4号)3,535万円

主な補正は10月の台風

19号に伴う町道の災害

復旧工事費750万円

です。

12月 定例会

第4回定例会

第4回定例会が12月17日に開催され、専決処分2
件を報告、条例の一部改正や平成26年度一般会計補
正予算を含む8議案が提案され、原案通り可決しま
した。なお、決算特別委員会に付託した「平成25年
度決算認定」については、決算特別委員長の審査報
告のあと、採決を行い、賛成多数により認定しました。

審議した主な議案

補正予算

一般会計(第5号)

衆議院議員選挙費

17,182千円

一般会計(第6号)

補正予算額は5億

5,106万9千円で、

補正後の予算総額は

109億9,521万

9千円となります。主

なものは次の通りで

です。

総務費

地域振興基金積立金

2億1,440万円

小豆地区ふるさと市

町村圏基金の廃止に伴

う出資の返還金です。

民生費

障害者福祉費

548万3千円

各種自立支援医療費

給付の増額費用です。

衛生費

病院事業会計負担金等

2億4,800万円

医師不足による経営

が悪化した内海病院へ

の補てん費用です。

教育費

大会出場補助金

110万円

12月14日に山口県で

開催された、全国中学

校駅伝大会に香川代表

として出場した小豆島

中学校陸上部への補助

金です。

市町総合事務組合を組

織する地方公共団体の

数の減少及び香川県市

町総合事務組合規約の

一部変更について

市町総合事務組合か

ら土庄町小豆島町環境

衛生組合を脱退し、規

約の一部を変更するも

のです。

小豆島町国民健康保険

条例の一部改正

出産育児一時金の支

給額を平成27年1月1

日より、これまでの

39万円から40万

4千円とするもので

す。

みさき園大規模

改修工事

変更増額

933万7,680円

契約金額(変更後)

5億2,383万

7,680円

施工業者

(株)クリタス西日本支社

建設予定地の地中か

ら埋設物が発見され、

撤去工事等とポンプ更

新の必要が生じたため

です。

質疑応答

●埋設物はなにか。

▲過去に建設された、

コンクリート構造物。

報告

平成25年度決算（意見をつけて）認定

平成25年度小豆島町歳入歳出決算認定については、決算特別委員会で審査（3日間）した結果、次の通り意見を付して認定するものと決定しました。

【総括意見】

◎未収金対策について

地方における依然とした厳しい経済状況の中、各課の個別的な取り組みと収納対策室と連携した徴収への努力により、その成果が認められる。今後、納付意識の啓発や徴収に対する研修を進め、未収金を発生させないよう、さらなる徴収への努力をされたい。

【個別意見】

◎有害鳥獣（イノシシ）被害対策については、人家付近にイノシシが出没するなど危機的状況となってきた。これまでの対策では、限界があるので思いきって資金投入し、抜本的な対策を検討されたい。⇒農林水産課

◎平成25年度決算については、経営努力の成果が実り、評価できる。しかしながら、さらなる医師不足により急速に経営状況が悪化しており、引き続き香川大学等と連携し、医師の確保に鋭意努められたい。⇒内海病院

◎町民に危機的な国保財政の状況を認識してもらい、医療費の適正化と国保財政の健全化に向けて、成果が出ているジェネリック医薬品推進等の取り組みをさらに進められたい。⇒健康づくり福祉課

◎内海地区における就学前教育（幼保一元化）のあり方を早急に検討し、無駄のない施設整備の方針を示されたい。⇒子育て共育課

◎中山地区への観光客増加にともない、大型バス等に対する駐車場整備について、検討を進められたい。⇒商工観光課

四国地区町村議会議長会表彰

11月6日の四国地区町村議会議長会において、秋長議員が自治功労者表彰を受賞されました。



自治功労表彰を受賞した
秋長議員

砂防ダム等の現状は

町「825カ所、適切に維持管理を行っている殿川ダムは27年度に県が水質改善の施設整備をする」



藤本 傳夫 議員

質問 小豆島町内の砂防、多目的ダムの数とその浚渫は。殿川ダムの異臭対策は。

答弁 建設省所管の通常砂防ダムは145カ所、林務砂防ダムは680カ所の計825カ所です。最近10年間で片城川砂防のみ維持

浚渫を行っている。

通常砂防ダムは平成25年度に点検を実施し、7カ所の砂防ダムは、えん堤改築計画を策定している。この7カ所は、昭和52年以前に設置された砂防ダムで、現在の指針等に合せてより安全に補強すべき構造が確認され

たため、来年度以降、順次地元説明、工事着手の予定である。カビ臭問題については、県がコンプレッサとポンプを併用して、ダム湖内に空気を送り込み循環させ、水質改善する施設を平成27年度に整備する予定である。

職員研修を自衛隊で

町「善通寺の自衛隊へ職場研修をお願いする」

質問 最近、新人研修を自衛隊で行う民間企業がある。職員も危機管理に対する訓練が必要ではないか。

に参加して頂いているので、本年は、職場研修も併せてお願いする。

答弁 大規模な災害発生時に、速やかに適切に対応するため、日頃からの訓練・研修が必要である。自衛隊で研修を実施することは、大規模災害に対する心構えを醸成するのに有効であると思う。

善通寺の自衛隊には2年間続けて防災訓練



昭和51災害時に派遣された自衛隊（谷尻）

一般質問



中村 勝利 議員

水族館をぜひ小豆島町に

町「協議会を1月中旬に立ち上げ議論していきたい」

質問 水族館ができることは、島の観光振興はもとより陸上、海上など交通体系整備、地域経済の活性化等、島の発展につながる。

答弁 屋島全体が国の天然記念物に指定されており、老朽化による建て替えが難しく、日プラ(株)は新たな候補地の選定に乗り出した。幸い、坂手港近隣には広い町有地があることから、昨年9月から日プラと協議している。

1月には、協議会を立ち上げ議論して頂きたいと考えている。

世界に誇る水族館を実現するための、沖縄の美ら海水族館の名誉館長からプロとしてのアドバイスを頂きたいと思っている。

地方創生を活かせ

町「平成27年度中に総合戦略を策定予定」

質問 地方自らが考え、創意工夫し、やる気のある地方自治体を政府が後押しする政策である。

答弁 小豆島の持つ多様さ、豊かさを今後どう生かしていくか。平成27年度中に地方自治体ごとに、施策の方向性と数値目標を掲げた総合戦略を策定する事になっている。



水族館建設が望まれる坂手地区

職員時間外手当増の原因は

町「ここ数年が島の未来を左右する大切な時期であり、芸術祭等の通常に加えての業務がある」



大川 新也 議員

質問 平成25年度職員の時間外手当支給額が2,530万円、平成24年度の1.6倍、平成21年度では2.6倍と年々増加している。その原因は。



イノシン防護柵 (神懸通)

を感じる。

また、勤務時間外、休日には職員が各地域の諸行事に参加し、地域の声を聞く事も大切な仕事ではないか。

答弁 小豆島の未来を左右する大切な時期であり、多くの重要課題がある。平成25年度は瀬戸芸開催もあり業務多忙が原因である。職員の健康管理には十分気をつけ、地域の行事等へ積極的に参加し、地域の現状把握も大切だ。いずれにしても職員には大変感謝している。

猪頭数削減に積極的な対策を

町「環境づくり・防護・捕獲による対策を進める」

質問 今、住民の最大の関心は猪対策である。防護柵設置補助、捕獲奨励等があるが、奨励は1頭当たり1万円うち町負担1,980円だ。町単独で奨励を増額し、頭数削減に積極的な助成をしては。

答弁 有害鳥獣問題は全国的に深刻で国、県でも抜本的対策・研究が不可欠だ。猪の頭数を減らす事について全町上げて取り組むべきことと認識している。

奨励金を上げれば捕獲が進むというのではなく、猟友会の支部単位で単価が違うとトランプル等の問題も起きる。今後、猟友会と慎重に相談したい。



森 崇 議員

県の水道事業統合案について

町「平成27年度設立準備協議会に参加の時は、議会にも相談していきたい」

質問 県は「水道料金も安くなる」として平成27年4月に準備委員会が立ちあがる。水の苦労は地域差があり「水の取り合い」になると思うが。

答弁 県から「広域化の為の協議会」を立ち上げるという提案があった。準備会参加の時は3月議会で説明する。水不足の責任、費用負担、緊急対策の関係、健康被害の対策など対応して行きたい。

財務省の小・中学校削減提示について

町「小学校は当分の間は統合する考えはない」

質問 財務省は小・中学校については、約5,000校の削減を提示した。町長は「子どもは地域で育てられる」と言われた。集落には学校が必要だ。「地方イノシシ対策について」

質問 猪対策は農業問題を越え社会問題という答弁があった。平成21年は8頭の捕獲が平成25年には201頭と聞き驚いた。陽が短い冬なので学生も集団下校している。

町「侵入防止柵の設置には地域の協力が不可欠」

質問 猪対策は農業問題を越え社会問題という答弁があった。平成21年は8頭の捕獲が平成25年には201頭と聞き驚いた。陽が短い冬なので学生も集団下校している。

池田の「花寿波」近くの道路に大きな石が落ちていた。猪だと思ふ。積極的に取り組むべきでは。

答弁 ①住民の協力 ②侵入防止柵での防護 ③猟友会の捕獲を進め



ここにも石 (木庄川)



花寿波横の道路に石

奨学金制度の見直しをどう考えていくのか

町「平成27年度に事業効果の検証を行い、見直しの検討を行う」



安井 信之 議員

質問 他町にない特異な制度をできるだけ継続していただきたい。

答弁 これほどの奨学金制度を設けている自治体は全国どこにもない。人口減少と人材流出で危機的な状況にある小豆島では、そんなことを言っている場合

ではないという思いで導入した。

一方で、相当の財政負担を伴うので、平成27年度に事業効果等の検証を行い、見直しの検討を行うことは必要な作業である。

しかし、島の将来を考えた場合、欠くことができない制度であるという前提に立つての話であることは当然である。

協働のまちづくり事業での成果の検証について

町「事業の精査・検証を行い、町民の活動を支援する」

質問 町の施策の中で継続すべき事業があったのではないか。

答弁 平成22年度から協働のまちづくり支援事業を始め、住民主導の自発的な地域づくりの推進を図るためのさまざまな活動に支援を

してきた。

地域の自発的な取り組みは、これからの地方創生に欠くべからざるものだと思う。

検証については、3年たてば地域の人が自立して活動を続けてもらう事業、ユニークな取り組みで行政の施策に取り込んだほうがいい事業もある。そういうものについては、施策として実施主体を町に改めるということも考えていかねばならない。

本来行政ができない部分を担っている団体との認識のもとに、できる限りの協力はしたい。



オオムラサキの観察会
生涯学習のまちづくり事業 (中山)



浜口 勇 議員

若者が島へ帰って 生活できる職場の創造を

町「地場産業の振興と新たな 職場の創出に知恵を絞りたい」

質問 進学のため島を離れた子ども達が学業を終えて、学んだものを活かせる職場が島内に少ないのが現状である。島へ帰りたいけど、帰れない実情を打破して、安心して働ける職場づくりこそが地方創生であり、人口減少対策では。

るので期待している。

新しい産業づくり条

例では、新規事業の進

出や今ある企業の規模

拡大や設備投資に対す

る税の減免や起業家支

援に取り組んでいる。

また「醬（ひしお）

野菜商品開発構想」が

提案されている。

今年度から離島活性

化交付金を活用して、

醤油と佃煮製品の海上

輸送費支援事業を始め

ている。

芸術家やクリエイエー

ターが島へ来ると関連

の仕事も増える。今後

はありとあらゆること

に全力投球して、若者

にとって魅力ある職場

づくりをする。

答弁 地場産業である
醤油、佃煮、オリー
ブなどの食品産業
をしつかりさせて
やりがいのある職
場にしたい。例え
ば、病院がレベル
アップすれば医療
関係者の新しい職
場ができる。島外
で住んでいた人は
新しい発想で新し
い職場を開拓でき



都会の大学の校舎

外国人観光客の 誘致について

町「次回の瀬戸芸に向け、直島・ 豊島と連携し誘致を図る」



坂口 直人 議員

質問

①外国人観光客誘致
の現状把握と今後の課
題は。

②多国語で表記された
看板、マップ、パンフ
レットの数と今後の予
定は。

③大型クルーズ客船停
泊が可能な港の整備
は。

④外国人観光客への対
応準備は。

答弁

①観光客は増えてい
る。しかし、本来もつ
と注目されるべき島の

魅力が海外に向けて十
分発信できていない。

宿泊施設や外国語を話
せる人材の不足、外国

人のニーズに合うプラ
ンの未開発等、課題は

山積している。

②小豆島ロードマップ、
寒霞溪・星ヶ城ガイド

マップ、中山散策マッ
プ、三都散策マップを

作成。英語、中国語版
のグルメマップも発行

予定。

岬の分教場保存会
が、岬の分教場や映画

村、マルキン醤油記念
館等を英語、中国語、

ハンデル語でパンフ
レットに掲載。看板も

次の芸術祭に向けて今
後さらに多言語化を進
める。

③現時点で、大型ク
ルーズ船に対応した岸

壁整備についての構想
はない。県営事業とし

て取り組まなければな
らないので今後、県営

事業の可能性と町財政
の状況を見極めて検討

し、県と協議を行いた
い。

④多言語で対応できる
人材が不足している。

次の芸術祭に向け、語
学能力に優れた人材を

観光施設や展示会場の
スタッフとして積極的

に採用したい。



外国人観光客との交流（福田地区）



中松 和彦 議員

佃煮、醤油産業に対する 現状認識と振興策は

町「輸送経費の補助に海上輸送費
支援事業を開始している」

質問 小豆島町においては、佃煮・醤油の製造販売の分野でかなりのレベルで落ち込みが見られると世間では言われている。

同分野は多数の人々を雇用するとともに、福利厚生制度も整い、老後にも安定した生活を担保するという、町にとっては極めて重要な産業・財産である。現在進行中の新病院の建設・経営についても産業の健全な発展は欠かざるものと言えよう。小豆島町として、佃煮・醤油産業の現状をどのように理解し振興策をとっているのか。

答弁 町にとって地場産業の維持発展は不可欠である。景気変動等の中で大変頑張っているが、大変厳しい状況であると認識をしている。

したがって、組織対応も企画財政課及び具体的な指導統括監のもと取り組んでいる。

具体的には「かがわ産業支援財団」の地域振興アドバイザーとの連携協力を図りながら、設備投資に対する税の補助制度・海上輸送費支援事業をスタートした。

また、2月に行われる東京でのトレードショーへの出展助成も予定している。今後考えられる施策は全て行わなければならないと

考えている。



佃煮、醤油産業が連なる苗羽地区



鍋谷真由美 議員

町民生活を苦しめる 消費税増税について

町「税率引き上げは必要」

質問 消費税増税が庶民に重い負担となり、深刻な「増税不況」となっている。この上10%への増税で町民のくらしは大変。先延ばしではなくきっぱり中止を求めるべきでは。

答弁 消費税率引き上げは、国民生活の安心確保、社会保障の必要財源確保のために必要と考える。

介護保険のサービス 切捨てはやめよ

町「必要な改革である」

質問 「医療・介護総合法」で、要支援者のヘルパー・デイサービスの切り捨て、特養入所の「要介護3」以上の限定、2割負担の導入などの制度改悪が公的介護を土台から掘り崩すことになる。撤回を求めるとともに現状のサービス水準を低下させない取り組みを求める。

答弁 必要な改革だと思っており、撤回を求める考えはない。

学校図書館に 司書の配置を

町「努力義務であり、国の動向を注視する」

質問 学校図書館法が改正され「学校司書」が法制化された。子どもの読書環境の改善のために専門、専任、正規での学校司書の配置を求める。



中学校図書室

子育て支援のために 学校給食無料化を

町「無料化は考えていない」

質問 学校給食は、教育の一環、「食育」である。貧困対策、少子化・人口減対策、また、憲法の「義務教育は無料」の精神に立ち、学校給食を無料にする考えはないか。

答弁 大きな財政負担となり、困っている家庭には準要保護制度があり、無料化は考えていない。



松下 智 議員

町行政が主体での

商品券の発行と運営を

町「町が実施する方向で、商工会と積極的に協議・検討を行う」

があるのでは。

町商工会の地域商品券は12月末で終了となる。商品券は、町内での消費拡大を促すとともに、商工業の振興と活性化を図る観点からも継続すべきと考え

る。

質問③商品券のプレミアム部分の援助を！消費者には、商品券のプレミアム部分がメリットである。各商店の売上げ不振等からも、プレミアム部分の助成は、商品券発行の継続には不可欠な条件と考えるが。

答弁 地元商店で使える商品券は、地元商店の活性化・町内経済の振興に役立つものと思っている。商品券事業は、町が主体での実施とプレミアム商品券の発行の方向で商工会と検討・協議を行う。また、国の地域商品券発行支援がある場合には、積極活用を図りたい。

質問②町行政が主体での発行・運営を！

地域商品券は、行政主体で実施する傾向にある。この場合には、財務局の規制や手続が必要になる。特に発行保証金の供託免除は、資金運用での負担が軽減されるメリット

なかよし商品券が終了します！

この度、平成26年9月30日をもって、なかよし商品券・500円券・1000円券の販売が終了となります。また、平成26年12月31日をもって、旧商品券・なかよし商品券のご利用は、完全に終了となります。小豆島商業協同組合加盟店のご利用は、以下に示しております。旧商品券・なかよし商品券をお持ちの方は、即日（平成26年12月31日）までにご利用ください。なお、旧商品券・なかよし商品券は平成27年11月30日までご利用できます。

旧商品券・なかよし商品券は

平成26年12月31日をもって使えなくなります。

（それに伴い、なかよし商品券の販売は平成26年9月30日をもって終了いたします。）



お問合せ先：小豆島商業協同組合

〒781-4426 香川県小豆郡小豆島町本町1032-1

TEL・FAX 0879-82-6722

2014年12月廃止された小豆島商業協同組合の商品券及びなかよし商品券

小豆島の観光とクルーズ誘致について

町「クルーズ船の誘致を推進する」



谷 康男 議員

質問 小豆島の総生産額に対する観光に占める生産割合はどの程度か、また観光による経済波及効果は、クルージング誘致による経済効果は、小豆島町として独自の戦略があるのか。

答弁 観光は小豆島が

元気になるうえで必要不可欠なものである。島の文化・伝統・自然は島の人たちだけで楽しむものではなく、島外の人、それから日本だけでなく世界中の人に小豆島を知ってもらうこと、小豆島の素晴らしいものを守って磨いて発信していくことが我々の義務だと思

う。クルーズについては民間の皆さんの努力により、最近では船会社のほうから積極的に来たいという声も出始めている。

総生産額とか生産割合についてはデータがないので、総売り上げでみると、宿泊と飲食サービスを含わせて16億2,800万円、産業全体で583億2,500万円の約2.8%となる。

この上に、運輸業、小売業、建設業、電気、ガス・水道業の一部が乗って来るので従業員

数から計算すると40億1,300万円程度が観光関連の売上金額になると推測される。

またクルーズの場合平均2.1回の寄港で直接経費だけで約700万円の経済効果が見込まれるほど、大きいと考えられる。



日本丸の寄港（坂手沖）

視察研修報告

総務建設・教育民生の両常任委員会は、平成26年11月26日から28日にかけて合同の視察研修を行いました。

山口県長門市

研修事項

『タブレット型端末の議会導入について』

タブレット導入の利便性と課題等

【メリット】①膨大な

紙の資料を使用しなくなることで時間・労力・経費などのコスト削減が図れる。②膨大な資料の中からでも、必要な資料を簡単に見つけることができ、管理が容易である。③情報を携帯することで、町民等からの問い合わせにも簡単に応えることができる。



タブレット操作の説明を受ける

④十分な記憶容量があり、大量の情報を持ち運びが容易であり、キーボード、マウスが不要で指先で操作できる。

【デメリット】①ペー

パーレスということからは、膨大な資料等のデータ管理に難しさがあるのではないかと。②インシヤルコスト・ランニングコストなどの経費面の考慮と、タブレット端末の操作に慣れるまでのスキルアップに苦慮することが予想される。③情報は、すべてコンピュータの中にあるので、電源の確保が不可能となった場合には、資料等の閲覧は出来なくなる。

さらに、メインコン

ピュータが破損・故障した場合には、膨大な情報が一度に損失されることになる。

結びとして、本町でもタブレット端末の導入を行う場合には、利便性やコスト面から考慮すると、議会側と執行部側とが同時期に導入する必要性があるのではないかと感じている。

山口県山口市

山口情報センター(YCAM)

研修事項

『創造的文化環境

づくりを目指して』

山口情報芸術センター(以下「YCAM」とは、展示スペース、劇場、ミニシアター、図書館を併設した複合文化施設である。日本には、このような場所はない。

YCAMでは、アーティストの現場に参加する文化体験を通じて、理解・発見力、分析力、表現力を伸ばすための、真

のコミュニケーションの「場」を作り出すことに挑戦している。そのため、従来の「保存・展示型」の文化施設ではなく、「この場で考え、コミュニケーションし、共同で創る」創造的文化環境づくりを目指している。

この施設は「制作」と「発信」「教育」を軸に、ユニークなワークショップに住民を巻き込み、教育の進化形を次々と提言している、日本だけではなく世界中からアーティストや情報技術関係者が訪れ、他の場所では生み出せないオリジナルの作品を生み出し、地方から世界へ「オリジナルソフト」の発信を行っている。

小豆島においても、島外それから世界中の人たちとの関係・交流を広げていくために、そして小豆島から世界へ情報発信できる場所として、また、企業誘

致ではなく、人材誘致の場としてのYCAMのような施設、ハード面ではなくソフト面での考え方は今後の小豆島を考える上での一つの指針を示しているのではないかと感じた。

子育て支援の個々の施策については、本町の取り組みもそれほど遜色ないと思うが、邑南町では、「日本一の子育て村」と称して数値目標を掲げ、町全体で、複合的・分野横断的な取り組みをしていること、その取り組みを「子育て支援ガイドブック」にして配布していること、広報に力を入れ、テレビや雑誌にも取り上げてもらい全国に発信していること、「地域おこし協力隊」の活動を将来の就労に向けた準備期間として定住に結びつけようとしていることなど、学ばべき点も数多くあると感じた。また、医療体制が充実していることは恵まれており、大変うらやましく感じた点である。



複合文化施設 YCAM の劇場

島根県邑南町

研修事項

『定住促進策について』

邑南町は、『A級グルメ立町』と『日本一の子育て村構想』を核とした定住促進プロ

9 議会だより 平成27年2月1日



「住みよい町づくり をめざして」

土居 富夫

(草壁本町南自治会総代)

草壁本町南地区は草壁港から徒歩7～8分の所で、別当川と片城川の間に世帯数266世帯、人口461人、65歳以上119人、18歳以下は70人の国道を挟んで北と南に分かれている地区です。

地区には昔から受け継がれている行事があり、今でも7月に荒神祭神事は自治会が執り行い、夜は夏祭りのバザーをします。バザーは中高生が行い、子ども会カラオケは会館の機械を使用するので職員の方をお願いしています。

8月に入ると小学生から希望者を募り、8月13日の初盆供養の太鼓と踊りの練習をします。初盆供養は南地区独特の行事で初盆のお宅まで移

動式の櫓を引いて行き、初盆のお宅の玄関先で音楽に合わせて、櫓の上で子どもが太鼓を叩き、その周りを皆で踊る、昔ながらの初盆供養を行っています。(雨天の場合は集会場で行います)

12月大晦日は長楽寺で住職と一緒に除夜会(じょやえ)のお勤めをした後、参加者全員が除夜の鐘を突きます。

地区の行事は夏と冬の気候的には厳しいところもありますが、これからも今日まで受け継がれてきた行事を地区の方の協力の元、継続していきたいと考えています。



地域の伝統行事 初盆供養 (草壁本町南地区)

ここに数年子ども達の運動離れや体力の2極化が問題視されています。事実、現在教室に来てくれている生徒には自分から通いたいと言ってくれたお子さんの他に、保護者の方がお子さんの運動量の少なさを案じら

「指導」と言っても、教室で最も大切な事は子ども達自身が「運動って楽しい」と感じられていることです。まるで遊んでいる様に知らず知らずのうちに運動が好きになり、基礎体力も向上していることが理想です。

「STEPうんどう教室(以下STEP)」は昨年9月に開講した幼児・小学生対象の運動教室です。STEPでは野球やサッカーといった競技スポーツの前段階である基礎体力の向上を計る為「学校体育」と「運動遊び」の2つの柱を軸として指導をしています。



うんどう教室の様子(BG体育館)

【お問合せ】
STEPうんどう教室
代表 坂本 真一
☎ 0879-6219977

子ども達の体力の向上には家庭や地域ぐるみでの取り組みが必要不可欠です。島内のみなさんのご理解・ご協力よろしく願いいたします。見学・体験は無料です。

編集後記

小豆島町議会は病院問題、新高等学校の建設、交通問題、鳥獣害対策など、大きな問題を打開すべく行政と協議をかさねております。

今、議会でのような議論がなされているか、なにより問題なのか、また将来の小豆島町がどうあるべきかを行政に問いかけ、要望を行っております。その内容をできるだけ皆様に、解りやすくお知らせするために、議会だよりの編集をおこなっています。議会だよりに対するご意見やご要望をお聞かせください。なお、議会の傍聴(3月予定)にもお越しください。

谷 康男 記



本紙に対する
お問い合わせは

■発行 小豆島町議会 ■編集 小豆島町議会広報編集特別委員会

〒761-4388 香川県小豆郡小豆島町池田2100-4 TEL (0879) 75-1100 FAX (0879) 75-0108

E-mail olive-gikai@town.shodoshima.lg.jp

議会だより 平成27年2月1日 10